すもも

大石早生	発芽	展葉	開花始	満開	落花	収穫盛
	3.26	4.15	4.12	4.17	4.28	7.3

平年値（園芸農業研究所）

散布時期	適用病害虫名	散布薬剤名及び散布濃度（薬液100ℓ当たり）		農薬使用基準 収穫前使用時期	農薬使用基準 総使用回数	10a当たり散布量	注意事項（収穫前日数　総使用回数）を表す	散布日（月／日）	使用薬剤	使用濃度
3月下旬（発芽前まで）	カイガラムシ類 ふくろみ病 越冬病害虫 ふくろみ病 ハダニ類	水 1．ハーベストオイル 2．トレノックスフロアブル 又は、 石灰硫黄合剤	（98ℓ） （石灰硫黄合剤を使う場合90ℓ） 50倍（2ℓ） 500倍（200cc） 10倍（10ℓ）	 発芽前 14日前まで 発芽前	 － 3回以内 －	300ℓ	1．**発芽前に遅れないように必ず散布する。散布ムラのため発病することが多いので枝先までむらなく散布する。幼木にも必ず散布する。**	／		
4月中旬 開花直前	かいよう病 黒斑病	1．ICボルドー412	30倍（3.3kg）	－	－	300ℓ		／		
4月中～下旬	スモモヒメシンクイ ナシヒメシンクイ	ナシヒメコン	10a当り100本を設置				未結実園地にも設置する。 詳細は２ページを参照			
5月上旬 落花直後	灰星病	1．インダーフロアブル	5,000倍（20cc）	前日まで	4回以内	300ℓ	1．散布は遅れないようにする。 2．ふくろみ病の被害果は見つけ次第摘みとり、土中に深く埋める。	／		
	この回以降の散布は殺虫剤解禁後とする									
5月中旬	灰星病 黒斑病 カメムシ類 アブラムシ類	1．フルーツセイバー 2．マイコシールド 3．ダントツ水溶剤	1,500倍（66.6cc） 2,000倍（50g） 2,000倍（50g）	前日まで 21日前まで 3日前まで	3回以内 3回以内 3回以内	400ℓ		／		
5月下旬	灰星病 シンクイムシ類 カメムシ類 カイガラムシ類幼虫	1．ベルクート水和剤 2．アグロスリン水和剤 3．アプロードフロアブル	1,000倍（100g） 1,000倍（100g） 1,000倍（100cc）	3日前まで 前日まで 14日前まで	3回以内 2回以内 2回以内	400ℓ	1．おうとうへの飛散に注意する。	／		
6月中旬	灰星病 黒星病 ふくろみ病 シンクイムシ類	1．ナリアWDG 2．エクシレルSE	2,000倍（50g） 2,500倍（40cc）	前日まで 前日まで	2回以内 3回以内	400ℓ	1．灰星病の被害果は見つけ次第摘みとり、土中深く埋める。 2．ナリアWDGはル レクチエの果実やピオーネの葉に薬害を生ずることがあるので飛散させない。	／		
6月下旬	灰星病 シンクイムシ類	1．オンリーワンフロアブル 2．テルスターフロアブル※1	2,000倍（50cc） 3,000倍（33.3cc）	前日まで 前日まで	3回以内 2回以内	400ℓ		／		
7月上～中旬	灰星病 カイガラムシ類 アブラムシ類 シンクイムシ類 （ハダニ類）	1．パスワード顆粒水和剤 2．モスピラン顆粒水溶剤	1,500倍（66.6g） 2,000倍（50g）	前日まで 前日まで	2回以内 3回以内	400ℓ	1．パスワード顆粒水和剤を散布する場合は、おうとうに汚れが残ることがある。又、りんご、なしに飛散させない。 2．ハダニ類の発生が多い園ではダニゲッターフロアブル2,000倍（前日まで、１回）を混用散布する。	／		
7月下旬	灰星病 シンクイムシ類 アブラムシ類	1．インダーフロアブル 2．スカウトフロアブル※1	5,000倍（20cc） 2,000倍（50cc）	前日まで 前日まで	4回以内 3回以内	400ℓ		／		
8月上～中旬	灰星病、黒星病 カイガラムシ類 アブラムシ類 シンクイムシ類	1．ファンタジスタ顆粒水和剤 2．モスピラン顆粒水溶剤	3,000倍（33.3g） 2,000倍（50g）	前日まで 前日まで	2回以内 3回以内	400ℓ	1．灰星病の被害果は見つけ次第摘みとり、土中に深く埋める。	／		
8月下旬（晩生種）	灰星病 黒星病 シンクイムシ類	1．パレード15フロアブル 2．ディアナＷＤＧ	2,000倍（50cc） 5,000倍（20g）	前日まで 前日まで	2回以内 2回以内	400ℓ		／		
9月上旬（晩生種）	シンクイムシ類	1．エクシレルSE	2,500倍（40cc）	前日まで	3回以内	400ℓ		／		
収穫後	黒斑病	1．アビオン－E（展着剤） 2．ICボルドー412	2,000倍（50cc） 30倍（3.3kg）	－ －	－ －	400ℓ		／		
休眠期	コスカシバ	1．ガットキラー乳剤	100倍（1ℓ）	休眠期（落葉後～萌芽前）	1回	400ℓ	1．樹幹部及び主枝に十分散布する。	／		

収穫前使用時期で「前日」とは24時間前である。

※1 合成ピレスロイド剤は蚕毒・魚毒が強いので、桑園・養魚池、河川などの近くでは絶対に使用しない。